



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和2年度 第 8号
令和2年 8月31日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
持続可能な開発目標



このマーク知っていますか

テレビを見ているとこの17色のマークのピンバッチを付けている人が増えてきました。SDGs（持続可能な開発目標）といい、2015年9月の国連サミットで「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現の為に、2030年までに達成したい17の国際目標です。

2030年という、今、目の前で学んでいる子供達が社会の担い手として活躍していく時であることから、八千代市でも教育施策として「持続可能な開発のための教育の推進」を掲げています。

新木戸小学校は、昨年度「ユネスコスクール」の申請を行いました。SDGsを受けて、教育の分野で取り組むべき目標である「持続可能な開発のための教育」(ESD)に、各学年の発達段階に応じて取り組む計画をたてているところです。

例えば高学年は、今まさに私たちの健康を脅かしている「新型コロナウイルス」に対して、どう関わっていくべきなのか、自分たちができることは何かを考え、討論し、ポスターで呼びかけたり、動画を作成したり、マスクを作ったりしているようです。

4年生は、社会科のゴミの学習から発展し、「ゴミを減らすためにどうしたらよいか。」考えてこの後各自実践していきます。

今、身の回りで起こっている様々な問題について、子供ながらに真剣に考えて、正しい情報を共有し、できることを実践していく力は、これからの子供たちに必要な力となります。学校教育の中に留まらず御家庭でも子供たちと話す時間や機会があると、子供たちのやる気に火が付くと思います。よろしくお願いいたします。

ASEAN (東南アジア諸国連合) 交流授業 6年生

「持続可能な開発のための教育」(ESD)の学習の一環として、8月26日(水)にASEAN交流授業を行いました。タイとフィリピン、シンガポールの方々が来校し、各国の生活や文化についての話を聞くことができました。アジア圏の国々なので、似ているところもありましたが、全く違うことも多く、真剣に話を聞いていました。

中には民族衣装を着ることができた児童もいました。写真や実物を見ることで、世界の国々について考えることができました。

